

スマートフォン「AQUOS」のブランドアンバサダーに、伝説の俳優・松田優作氏を起用
「AQUOS R9」の新テレビコマーシャルを7月12日より放映開始



「AQUOS R9」テレビコマーシャルの1シーン

シャープは、スマートフォン「AQUOS」の新たなブランドアンバサダーとして、日本を代表する伝説の俳優・松田優作氏を起用しました。今夏のスマートフォン新製品「AQUOS R9」の発売にあわせ、松田氏が登場するテレビコマーシャルを、7月12日（金）より放映開始します。

新コマーシャルは、「AQUOS R9」の映像美や長期間安心して使える丈夫さ、新デザインの個性を、演技に一切の妥協を許さず、自身の哲学と信念を貫いた松田氏の言葉を通じて伝えます。昭和のレジェンドスター松田氏が、令和の最新スマートフォン「AQUOS R9」を手に語る言葉に、ぜひご注目ください。

コマーシャル動画は、スマートフォンAQUOS公式YouTubeチャンネル (<https://www.youtube.com/@AQUOSPHONESharp>) でもご覧いただけます。

また、コマーシャル放映にあわせ、松田氏が登場するグラフィック広告も7月中旬より展開予定です。詳細はスマートフォンAQUOS公式サイト (<https://jp.sharp/k-tai/>) にてお知らせします。

■ 概要

広告媒体	実施期間
テレビコマーシャル	2024年7月12日（金）～ 8月12日（月） 予定

■ 松田優作氏プロフィール

松田優作（まつだゆうさく、1949年9月21日 - 1989年11月6日）は、山口県下関市出身の俳優。1973年に刑事ドラマ『太陽にほえろ!』でデビューし、アクションスターとして人気を博す。1979年にドラマ『探偵物語』でコミカルながらもカリスマ性のある探偵を演じ、代表作となった。1989年には映画『ブラック・レイン』でハリウッドデビューを果たしたが、直後に病で生涯を閉じ、これが遺作となった。日本アカデミー賞優秀主演男優賞、キネマ旬報主演男優賞など多数の賞を受賞。



スマートフォン「AQUOS R9」に関する情報は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。
<https://jp.sharp/k-tai/>

■ 新テレビコマーシャルの制作について

本コマーシャルは、AIや高精細3DCG、モーションキャプチャーなど最先端のテクノロジーを駆使して東映トゥーン研究所^{※1}と共同で制作しました。制作にあたっては、オフィス作^{※2}ならびに松田優作氏のクリエイティブスーパーバイザーであり、ご家族で女優・写真家の松田美由紀氏にご協力いただきました。

※1 東映株式会社（代表取締役会長：多田憲之、本社：東京都中央区銀座）の研究所。

※2 松田優作氏の所属事務所（代表取締役：松田美由紀、所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷）

■ 松田優作氏のクリエイティブスーパーバイザー 松田美由紀氏インタビュー

Q. 今回のコマーシャル制作にあたり、特にこだわったポイントを教えてください。

A. 優作をよみがえらせることに集中しました。動く顔というのは立体的なので、絵を描くようには表現できません。そしてさまざまな表情を知っていないと難しいうえ、造形だけでなく、オーラのようなものも、顔の表情には入ってきます。声もそうです。スタッフの皆様と懸命に一緒に作りあげました。

Q. 最初にこのコマーシャルの依頼が来た時はどのように感じられましたか。

A. すごく嬉しかったです。この令和の時代に優作がまた帰って来ることができたのは、ファンの方が待っていてくださるお陰だと思い、感謝しています。

Q. 今回のコマーシャルをご覧になった際どのように思われましたか。

A. 今まで優作をよみがえらせた動く作品の中で、一番優作本人に近いのではないかと思います。

● 「AQUOS」「AQUOS」ロゴ、「AQUOS R」ロゴは、シャープ株式会社の登録商標または商標です。